

ももこと私

ももことは
デビューも
ほとんど一緒でした

わたし
よろしくー

あおい
歳も3つ違い
だったので

デビュー当時の
「りぼん」新年会で
出会ってすぐに
仲良くなりました

新人同士
隣の席でした

まだ10代だった
ももこは
静岡で学生

20歳過ぎてた
私は東京で
就職していました

手紙はやっぱり
いいものですヨ

ももこの字で
丸くてカワイくて
いいな

みかしいたぐ

当時から
読みやすい文章で
スゴいなあと
思っていました

なので
しばらくは
昔懐かし文通
(もはや死語?)
していました

少しして
ももこも東京で
就職する事
になったので

杉並ってさあ
なんだか
いい所の奥さんが
住んでるって
ずっとイメージ
しててさあ

まさか自分が
住むなんてねえ

文通はそこで
おしまいです

でもこれから
一緒に遊べると
ワクワクして
いました

高円寺に
住んでいた

柊あおい先生
プロフィール

1984年デビュー。代表作に「星の瞳のシルエット」「目をすませば」など。「目をすませば」はスタジオジブリによってアニメ映画化。アニメ映画「猫の恩返し」の原作「パロン 猫の男爵」も描いた。

期せずして
ももこも私も
結構近くに
住んでいたの

いつも
大笑い
おなじ鉄道沿線の
水沢めぐみちゃん等と
みんな楽しく
過ごしていました

ばっかだね
ホンッと
信じらんない。

あははは
はははは

あはははははは

楽しすぎて
本当に幸せな
日々でした

お互いのアパートに
遊びに行ったり
手伝いに行ったり



ももこは
出会った頃から
魚が好きでした

彼女の魚熱は
冷める事なく

以後も色々な
魚グッズが
増えて
行きました

かわいい
っしょ!

コレも
コレも!



思い出すのは
デビュー当時
お手伝いに
行った時のこと

お腹
すかない?

すいたよ
ね

魚
煮ようかな

魚が刺繍された
鮮やかなピンクの
スカートは今も
忘れられません



えっ

「魚: 煮ようかな」
「魚: えっ」

しめぎり前の
今この時に

なんで
そんな
面倒な事!

ちよつと
待っててね
魚煮るから

それとも
面倒じゃないの?
ももこことっては

もしかして
「卵焼くわ」と
同じ程度の
手軽さなの?

やっぱり
清水だから?

ももこって
普通に
煮魚
作るの?

作るよー
魚おいしい
じゃん♡

20歳そこそこで
気軽に煮魚
なんてスゴイ!

海なし県の
栃木出身の
私には
解らない…

連載が
決まった時は

連載

連載

連載

あたし

「まる子」って

呼ばれてた

からさー

「ちびまる子ちゃん」

にしよう

と思うんだよねー

おステキ!

へえー
いいんじゃない?

「サザエさん」
みたいな感じで
描いていたら
いいと思うんだよー

ホントに
「サザエさん」みたいな
国民的まんがに
なったねももこ!

イロイロ
クラスの子達
描けるしさー

編集部の帰り
電車のつり革を
にぎりしめたももこは
揺れに合わせて
「連載」「連載」と
エンドレスに頭に
響いていたそうです

ももことは
結婚したのも
同時期でした

お互い家庭を
持ってからは
なかなか会う事も
なくなりましたが

あおいちゃん

久しぶりー

10年ぶりくらいに会っても
前と全く変わりなく
あの頃の時間に戻れたのです

いつの間にか
「おへんせかい」は

日本中誰も知らない
大先生になって
しまいました

あっ
はっ
はっ
はっ
はっ

やだよー
もう!

いつ会っても本当に
屈託なく笑う
ももことは
私の大切な友達
さくらももこでした

突然いなくなつて
しまったなんて
現実味がなさすぎて
涙も出ません

聞いてよ
あのさー
こないだバカな事
やってさー

何何
また?

浮かんでくるのは
いつも

あの大笑いしてた
楽しくて
うれしい笑顔です

楽しい事が
大好きだった
ももこ

モチロン彼女だって
悲しかったり
苦しかったり
辛かったり
いろんな事が

たくさん
たくさん
あったのも
知っています

もう会えない
私に出来るのは
ただひとつ

ずっとずっと
私の中のももこと
一緒に歳を
重ねて行く事です

それを
乗り越えての
輝く笑顔でした

だから
泣かないよ
ももこ



天国でも
おかわら
大笑い
しててね